

次の、おいしさへ。

JAめむろ

夢あふり

2025

9

vol. 625



トップニュース

めむろファーマーズマーケット愛菜屋
「スイートコーン祭り」開催



JAめむろ
Instagram



JAめむろ
HP

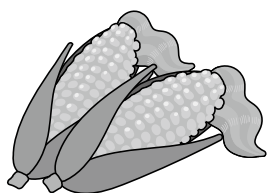


めむろファーマーズマーケット 愛菜屋 「スイートコーン祭り」開催

8月9日、茹でスイートコーンの販売・ミニトマトすくいなど、毎年恒例の「愛菜屋スイートコーン祭り」を開催いたしました。

販売開始前から長蛇の列ができ、開始時間を10分繰り上げて開始。

ゴールドラッシュをはじめ、ホワイトショコラ・ほしつぶコーンなど7種類・約800本の茹でスイートコーンは開始からわずか30分あまりで完売となりました。



大盛況！茹でスイートコーン販売！

【9月の営業カレンダー】

9月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

○印は定休日

営業時間 9:00~17:00



ミニトマトすくいに子どもたちも夢中！

今月の夢あじ

P 2 「スイートコーン祭り」開催

P 3 あぐり広場

小麦の収穫作業終える

P 4 芽室町百合根生産組合 役員道外視察研修
芽室町百合根生産組合 十勝管内ゆり根栽培技術講習会

P 5 芽室町南瓜生産組合 役員道外視察研修
JA YOUTH (青年部情報)

P 6 JA女性部 (女性部情報)

P 7 JAコスモスの会 一日研修
第57回芽室町納涼盆踊り大会

P 8 令和6年度外部出資先の決算状況と配当金受入状況について

P 11 GAP (農業生産工程管理)に取り組みましょう！

P 12 ストップ！農作業事故

P 13 農作業事故を防ごう！

P 14 こんにちは！経済部です

P 15 初級職員組合員宅研修報告

P 16 芽室町新農業経営者育成システム 第30期
研修生の応募は9月30日まで

P 17 理事会だより

連載 JAの基礎【報徳編】

P 18 芽室町農協史

JA北海道中央会からお知らせ

P 20 緑のめぐみ館からお知らせ



あぐり広場



農事組合▶ 報徳

氏名（年齢）

高野 綾さん

（34歳）

経営主▶ **高野 満さん**

ご主人▶ **高野 竜二さん**



◆出身地と前職

帯広市 株式会社柳月

◆ご自身の性格

マイペースで楽しいこと大好き！（お酒も）

◆趣味

子どもたちと温泉とイベント巡り

◆好きなもの

チョコレート

◆農業にたずさわっている中で喜びを感じる瞬間はいつですか？

採れたてお野菜を食べられ、育つ過程を素敵な景色と共に間近で見られることです。

◆今後の目標や挑戦してみたいことは何ですか？

今年の12月に芽室街中でポップコーンショップを開業します♪みなさんに愛されるお店を作ること……

小麦の収穫作業終える

令和7年産小麦は、6月下旬以降の気温がかなり高く推移したことで生育が急激に進み、共乾の収穫作業は、7月12日から開始し（採種は場は13日から開始）、中盤には降雨により一時中断したものの、7月23日までの実10日間で刈り取りを終えました。

小麦の生育は、登熟日数が短かく粒重は軽かったものの、「きたほなみ」「ゆめちから」ともほぼ平年を上回る反収となりました。品質については、「きたほなみ」「ゆめちから」ともに粒形、外観品位については概ね良好でしたが、高タンパクの傾向にあります。

「きたほなみ」については、過去最速となる7月28日から1等Aランクにて広尾の農協サイロへ出荷しており、「ゆめちから」については今後の調製となります。

なお、本年の調製作業については9月上旬終了見込みです。



芽室町百合根生産組合 役員道外視察研修

6月16日から17日、芽室町百合根生産組合役員3名、事務局1名にて東京青果(株)、静岡VF(株)、築地産業(株)の3社を訪問し、令和6年産販売の御礼および令和7年産に関わる販売協議をおこないました。

令和6年産のゆりねは、面積や生産者の減少により需要に対して供給が追い付かず、さらに海外需要も高まるなかでの出荷となりました。昨年産の品質は良好で綺麗なゆりねが多く、出荷先からも高い評価をいただき、今後も品質の維持をお願いされました。

情勢交換では、ゆりねは年末商材だけでなく、年明けの需要もあることや、海外需要が今後も高まることを知り、今後の販売戦略を考えるための参考となる研修でした。



東京青果で販売協議のようす

芽室町百合根生産組合 十勝管内ゆり根栽培技術講習会

6月30日、十勝管内でゆりねを作付する生産者と5JAの事務局、普及センターの職員が参加した「十勝管内ゆり根栽培技術講習会」を芽室町にて開催しました。今年はJAめむろが幹事農協を務め、当日は47名が参加しました。

まず、外部講師によるゆりねの栽培技術に関する講習会をおこない、終了後、当組合監事である岩間氏のほ場にてほ場研修を実施しました。試し掘りを実施し、実際の生育を見ながら意見交換をするなど、栽培技術につながる有意義な機会となりました。

研修後の懇親会では、芽室町産の加工食品と、当組合で取り扱う「白銀」・「白玲」の2品種の百合根を素揚げと天ぷらで調理し、食べ比べを実施しました。

参加者同士の交流も深まり、今後の連携強化へ向けた貴重な時間となりました。



栽培技術講習会のようす



ほ場研修のようす

芽室町南瓜生産組合 役員道外視察研修

7月3日から7月5日、芽室町南瓜生産組合役員6名、事務局1名にて高知丸果中央青果(株)、広印広島青果(株)、横浜丸中青果(株)の3市場で視察研修を実施いたしました。

令和6年産における販売の御礼および南瓜相場などの情報交換、販売対策の協議をおこないました。

令和6年産のめむろ産くり将軍は、厳選した出荷と販売の回転が早かったこともあり、品質クレームは少なかったとのことで、本年も引き続き良品質で安定した数量の出荷を求められました。

また、物流の情勢に関する情報交換の中では、ドライバー不足によりバラ輸送が年々厳しくなっており、パレット輸送やコンテナでの粗原出荷といった方法も組合として検討していく必要性を感じる研修となりました。



高知丸果中央青果(株)にて



横浜丸中青果(株)にて

「芽室花火 華音2025」に出店しました！

7月12日から13日に芽室公園でおこなわれた「芽室花火 華音2025」と「前夜祭ビアガーデン」に出店し、「めむろゴールドクラフト、えだまめ、ポップコーン、わたあめ、フライドポテト（芽室町産マチルダ・コガネ）」を販売しました。

今年はキッチンカーとテントでの出店をおこない、2日とも多くのお客様に芽室町農業の魅力や芽室産農産物、青年部をPRすることができました。



JA YOUTH

フレッシュミズ夏期視察研修

7月8日から9日の1泊2日でフレッシュミズ夏期視察研修が部員34名参加のもと実施されました。

1日目は、サッポロさとらんどを視察し、アイスクリームづくり体験に参加しました。生乳が日頃購入する製品になるまでを体験し、いつもとは違う味わいとなったアイスクリームを楽しみました。施設内を歩いて視察しながら、「人と農業・自然とのふれあい」・「都市と農業の共存」というサッポロさとらんどテーマを体感することができました。2日目は、2023年に竣工された(株)久原本家北海道工場を視察しました。北海道に工場を造った理由とこだわり、今後の展望について、会社説明、工場見学、商品説明、試食を通して学びました。会員は時折メモを取りながら、熱心に耳を傾けていました。両日とも学びに紐づいた体験をすることができ、大変充実した研修となりました。



サッポロさとらんど



(株)久原本家北海道工場

**牛乳・乳製品の
新しい飲み方・食べ方を
提案！**

牧場ママの試食試飲会

8月9日、Aコープめむろ店で「牧場ママの試食試飲会」を開催いたしました。本会はAコープチェーン・北海道帯広ブロック協議会が主催となり、十勝酪農畜産対策協議会・J A十勝地区女性協議会が協力して、牛乳乳製品の需要拡大を目的におこなわれています。当日は高橋部長をはじめとする女性部中堅役員9名が参加しました。

今回は「クリームチーズクラッカー（いちごジャム味とオレンジママレード味）」、「ブルーベリースムージー」の2品を提供し、あわせてレシピの配布もおこないました。「美味しい」「家族に作ってあげたい」といった声を多くいただき、多くの方へ乳製品の美味しさや新しい食べ方を伝えることができました。役員の呼び込みによって多くの方にお越しいただき、大盛況のうちに終了しました。特にブルーベリースムージーは材料を買い足して作った場面もあり、大人気でした。



J Aコスモスの会 1日研修

7月17日、J Aコスモスの会（武藤まつ子会長）で1日研修を実施し、会員14名が参加しました。はじめに当別町にあるロイズカカオ&チョコレートタウンを訪問。カカオの生育からチョコレートとして店頭に出るまでを学べる体験型施設となっており、展示物などを読みながら感想を共有して楽しみました。帰りはいわみざわ公園を散策しました。直近の気温の高さで、ローズガーデンの花は元気がなく残念ではありましたが、研修の締めくくりに花に癒され、無事に研修を修了しました。



ロイズカカオ&チョコレートタウンにて

第57回芽室町納涼盆踊り大会

8月17日、第57回芽室町納涼盆踊り大会が駅前広場でおこなわれ、畜産課による牛乳の無料配布と青年部で売店を出店しました。

多くの方が来場され、牛乳1,008本を配布することができ、青年部の売店も「めむろゴールドクラフト」と「芽室産コガネフライドポテト」を販売し、大盛況でした。

また、青年部、女性部、J A職員が踊り子として参加し、青年部は役員・支部長がお揃いの法被を着てプラカードやのぼりを持ち、11月23日に開催される「めむろ大感謝祭」をPRし、女性部は「安心・安全めむろ産 美味しいだけじゃダメですか?」をテーマにうちわを作成して会場を盛り上げました。J A職員もお揃いの法被を着て笑顔で踊りました。



令和6年度 外部出資先の決算状況と配当金受

■ 出資先の決算状況

出 資 先	純 資 産 額	前 期 繰 越 利 益	当年度剰余金 ▲は損失金	各種積立金 取り崩しなど	未 処 分 利益剰余金	利益準備金
北海道信用農業協同組合連合会	187,085,000	4,713,726	4,435,807	313,700	9,463,233	890,000
ホクレン農業協同組合連合会	116,654,000	3,121,956	7,288,000	690,695	11,100,651	1,460,000
北海道厚生農業協同組合連合会	44,590,565	527,273	▲ 733,558	1,000,000	793,715	0
十勝農業協同組合連合会	5,019,327	47,079	503,586	13,526	564,191	0
農 林 中 央 金 庫	4,340,688,000	226,072,589	▲ 1,842,523,225	1,616,450,636	0	0
全国農業協同組合連合会	379,314,000	8,199,939	16,246,000	346,676	24,792,615	3,249,202
全国共済農業協同組合連合会	4,792,686,000	47,047,000	137,339,000	91,152,000	275,538,000	27,467,908
全国酪農業協同組合連合会	15,908,605	96,175	917,863	0	1,014,039	184,000
全国畜産農業協同組合連合会	496,265	2,660	11,274	0	13,934	11,000
よ つ 葉 乳 業 (株)	52,312,000	564,665	2,730,000	0	3,294,665	0
(株) ロジネットジャパン	18,257,000	1,609,000	11,382,000	0	12,991,000	0
芽 室 ガ ス (株)	141,408	4,463	▲ 2,074	5,000	7,389	0
(株) 北海道畜産公社	6,807,276	604,746	404,899	0	1,009,646	0
(株)十勝くみあい農機事業センター	451,575	53,194	4,756	▲ 5,836	52,114	1,539
農 協 サ イ ロ 株 式 会 社	2,646,357	494,811	203,146	0	697,957	0
(株) ホ ク レ ン 商 事	7,390,199	5,613,080	917,490	0	6,530,570	0
(株) 日 本 農 業 新 聞	6,095,707	2,690,913	378,712	0	3,069,625	0
(株) 農 協 観 光	2,327,538	▲ 1,505,897	416,608	0	▲ 1,089,289	0
(株) JA 北海道情報センター	2,692,705	633,989	68,715	0	702,704	0
カ ル ビ ー 株 式 会 社	191,453,000	139,706,000	19,104,000	41,000	158,851,000	0
北海道農業信用基金協会	31,010,045	0	137,441	0	137,441	137,441
十勝広域森林組合	1,836,892	86,992	5,445	0	92,437	1,100
ジェイエイめむろフーズ(株)	154,232	0	3,510	0	3,510	0

■ 配当金受入状況

(単位：円)

出 資 先	出資金期末残高	配 当 率	出資配当金	特別配当金	配当金合計	前年配当金額合計
北海道信用農業協同組合連合会	2,680,790,000	0.7%	19,988,550	15,594,968	35,583,518	35,235,539
ホクレン農業協同組合連合会	362,700,000	2.0%	7,254,000	86,994,101	94,248,101	103,879,288
十勝農業協同組合連合会	41,340,000	4.0%	1,653,600	-	1,653,600	1,653,600
農 林 中 央 金 庫	17,200,000	-	-	-	-	-
全国農業協同組合連合会	100,000	4.0%	4,000	-	4,000	4,000
全国共済農業協同組合連合会	389,900,000	2.0%	7,798,000	10,612,657	18,410,657	16,968,831
全国酪農業協同組合連合会	2,040,000	1.5%	30,600	600	31,200	20,400
よ つ 葉 乳 業 (株)	21,200,000	10,000円 / 株	2,120,000	-	2,120,000	6,360,000
(株) ロジネットジャパン	1,900,000	120円 / 株	2,758,800	-	2,758,800	2,758,800
芽 室 ガ ス (株)	1,000,000	20.0%	200,000	-	200,000	200,000
(株)十勝くみあい農機事業センター	474,000	50円 / 株	23,700	-	23,700	23,700
(株) 日 本 農 業 新 聞	50,000	100円 / 株	1,000	-	1,000	1,000
(株) 農 協 観 光	1	-	-	-	-	-
カ ル ビ ー 株 式 会 社	78,000,000	58円 / 株	11,600,000	-	11,600,000	11,200,000
十勝広域森林組合	2,112,000	1.0%	21,120	-	21,120	-
(株) ホ ク レ ン 商 事	20,000,000	6.5円 / 株	75,400	-	75,400	75,400
その他（北海道厚生連他7団体）	313,850,000	-	-	-	-	-
計	3,932,656,001		53,528,770	113,202,326	166,731,096	178,380,558

※出資金期末残高は令和7年3月31日の金額です。(評価差額は除く) ※芽室ガス(株)は、決算期の相違により前年度分を記載しています。(合計に含む)

入状況について

(単位：千円)

未 処 分 利 益 内 訳			
特別積立金	出資配当金	特別配当金	次期繰越金
1,600,000	1,037,325	852,415	5,083,493
4,300,000	401,332	2,700,000	2,239,319
0	0	0	793,715
483,000	34,143	0	47,048
0	0	0	0
12,812,499	4,530,914	1,900,000	2,300,000
167,247,716	15,130,744	16,130,556	49,563,244
0	93,620	283,505	452,914
0	0	0	2,934
2,500,000	221,500	0	573,786
0	648,000	0	12,343,000
0	1,630	0	5,759
400,000	0	0	609,646
0	500	0	50,075
300,000	0	0	397,957
0	16,129	0	6,514,441
0	18,248	0	3,051,377
0	0	0	▲ 1,089,289
0	0	0	702,704
0	7,009,000	0	151,842,000
0	0	0	0
1,546	3,433	0	86,358
3,510	0	0	0

令和6年度 出資先の決算内容

1. 北海道信用農業協同組合連合会

金融推進では、J A・信連・関係機関協働のもと、個々の実情に応じた経営安定・成長支援を後押しする金融支援策の実践に取組み、さらにJ A貸出強化プランの支援などを通じ、農業融資基盤の態勢整備に取組みましたが、貯金残高は3兆1,895億円（前年比2.3%減）となりました。資産運用では、市場動向や資金動向などを見極め、余裕金全体として資産配分最適化を図りながら効率的な運用を実施しました。市場金利の上昇基調や銀行などによる預貯金獲得に向けた競争激化の動きもみられるなか、税引前当期利益は57億45百万円（前年比18.4%増）、当期剰余金は44億35百万円（前年比19.4%増）となりました。

2. ホクレン農業協同組合連合会

夏場の猛暑・豪雨による記録的な高温多湿の影響を受けながらも各品目の収穫量は概ね前年を上回る結果となりました。このような環境のなか、生産コスト軽減や適正な販売価格の形成、持続可能な物流体制の構築、食糧安全保障強化に向けた具体的な対応に取り組むとともに生乳の生産対策や米穀・飼料・玉ねぎの特別対策を実施しました。これらの取り組みの実施により、取扱高は過去最高となる1兆6,826億円（前年比4.6%増）となり、当期剰余金は72億88百万円（前年比14.3%増）となりました。

3. 北海道厚生農業協同組合連合会

令和6年度は、新型コロナウイルス感染症5類移行後の受診動向の変化に加え、人口減少などの影響による患者数の減少および材料費・委託費・光熱費など令和6年度の診療報酬改定では措置がされていない費用の増加により、収支計画が大幅に下回る見込みとなりました。このことから、10月に新たな経営改善策を策定し、患者確保対策とともに、患者に見合い要員の見直しや費用の削減などに取り組んだ結果、最終決算では医業収益が計画比22億円未達となりましたが、最終の損益においては、その影響額を縮減し計画を6億3千万円下回る、当期損失金7億33百万円（前年損失金1億3千万円）となりました。事業収益は841億円5千万円（前年比0.3%減）、事業費用は885億1千万円（前年比0.2%減）となりました。

4. 十勝農業協同組合連合会

第9次中期計画に基づき、先進的で持続可能な十勝農業を目指して、農業生産力の強化と組合員の所得向上を図るべく各事業に取り組みました。また、家畜の防疫では、各種伝染性疾病のスクリーニング検査を推進し、生産損失の未然防止に努めました。経常利益は4億93百万円（前年比781.9%増）を計上、当期剰余金は5億3百万円（前年損失金2億21百万円）を計上しました。

5. 農林中央金庫

年度末総資産は79兆5,599億円（前年比17.5%減）、調達面は預金残高56兆1,354億円（前年比10.7%減）、農林債発行残高4,498億円（前年比18.5%増）となり、運用面では貸出金残高17兆4,761億円（前年比2.8%増）、有価証券残高31兆5,946億円（前年比28.4%減）となりました。損益状況については、投融資ポートフォリオ改善の取組みを進めていくなかで、低利回り資産の売却による損失を計上したことを主因に、経常損失は1兆8,132億円（前年経常利益1,195億円）を計上し、当期純損失は1兆8,425億円（前年剰余金599億円）となりました。

6. 全国農業協同組合連合会

当期取扱高は、飼料原料相場下落などがあったものの、米穀・生活関連事業の販売価格の上昇などにより5兆1,286億円（前年比4.0%増）となりました。事業利益は19億57百万円（前年比47.1%減）となり、当期剰余金は162億46百万円（前年比14.1%減）を計上しました。

7. 全国共済農業協同組合連合会

「J A共済3か年計画」の最終年度として、職場活性化・チーム作りに向けた実施手順を整理しました。また、適正な推進活動に向けた共済事業推進の整備・定着を図るため、推進担当者の認証要件の厳格化などに取り組みしました。総資産は57兆4,189億円（前年比1.8%減）となり、将来生じうる共済金などの支払に備え積み立てている責任準備金は49兆5,065億円（前年比0.9%減）となりました。当期剰余金は1,373億円（前年比184.0%増）を計上し、支払余力比率については1,014.3%（前年比65.5%減）となりました。

8. 全国酪農業協同組合連合会

酪農事業は、前年の酷暑の影響で分娩時期のズレなどが生じたものの、再委託販売機能の保持と需給調整機能の的確な実施を重点施策として取り組んだ結果、酪農事業総取扱高は364億7百万円（前年比0.3%減）となりました。購買事業では、穀物相場の高騰や、為替相場の円安進行、国内副原料の需給逼迫などの影響により、総取扱高は966億52百万円（前年比8.9%減）となりました。酪農・購買事業合計では総取扱高1,281億75百万円（前年比3.8%減）となり、経常利益は11億91百万円、当期剰余金は9億17百万円（前年損失金4億2百万円）を計上しました。

9. 全国畜産農業協同組合連合会

購買事業では、飼料・資材などの高騰と枝肉価格の低迷、大規模経営の飼料の切り替えにより配合飼料の取り扱いが大きく減少しました。当期供給高は71億73百万円（前年比1.2%減）となりました。販売事業は、一部の食肉事業所で出荷頭数が減少しましたが、青森県十和田市に新たに開設した食肉事業所において新規出荷が順調に推移して減少分をカバーし、ほぼ前年並みの出荷実績となり、販売高は459億73百万円（前年比1.2%減）、当期剰余金は11百万円（前年損失金33百万円）となりました。

10. よつ葉乳業株式会社

飲用需要の減少傾向が続くなか、生乳増産により脱脂粉乳在庫が増加基調で推移し、過剰在庫削減対策の継続効果はあったものの、全国の脱脂粉乳在庫は52千トン（前年同月比4千トン増）となりました。販売に関しては、家庭用牛乳類は販売数量が減少しましたが、製品価格の改定により売り上げは前年を上回りました。バターは外食・土産関係を中心に需要は堅調に推移したものの、計画的な販売をおこなったことにより、販売数量は前年を下回りました。なお、2024年度に製造しましたバター150gの一部に金属線混入の恐れがあったことから自主回収をしました。この結果、売上高は1,273億68百万円（前年比3.1%増）、経常利益45億60百万円（前年比23.5%減）、自主回収により返品された製品および回収費用などで2024年度決算に反映すべきものは特別損失を計上したことから、当期剰余金27億30百万円（前年比36.1%減）を計上しました。

11. 株式会社ロジネットジャパン

燃料価格の高止まりや物価上昇による輸送資材の仕入れ単価の高騰を中心にコスト負担が引き続き増加するなど、依然として厳しい状況が続くなか、適正料金への改定に加え、業務のIT化および車両適正配置など輸送体制の見直しによる生産性の向上に取り組むことにより、収益の改善を実現しました。営業収益は148億14百万円（前年比249.2%増）、経常利益は114億47百万円（前年比946.3%増）、当期剰余金113億82百万円（前年比1049.6%増）を計上しました。

12. 芽室ガス株式会社

売上総利益は72,473千円（前年比6.0%減）となり、当期損失金は2,074千円（前年剰余金3,756千円）となりました。

13. 株式会社北海道畜産公社

処理部門では、前年と比較し肉用牛は増加しましたが、乳用種肥育牛や乳用種経産牛は減少しており、また豚においても猛暑による受胎不良や廃業の影響などにより取扱頭数が前年を下回りました。費用面においては、資材価格や電力料金の高騰、修繕費や固定資産取得に伴う減価償却費により前年を上回っています。この結果、当年度の売上高は107億54百万円（前年比1.0%増）、当期剰余金は4億4百万円（前年比7.8%減）となりました。

14. 株式会社十勝くみあい農機事業センター

営農資材類の安価安定供給に取組み、農機具は道外からの買取などの営業努力により計画以上の利益を確保しました。売上高は19億7百万円（前年比5.4%増）、当期剰余金は4百万円（前年比25.2%増）を計上しました。

15. 農協サイロ株式会社

小麦受入については、当年産の入庫数量は計画対比90.0%の104,891tとなりました。事業収入は当年産生産数量が計画を上回りましたが、実需オーダー進度が早く進んだことにより保管料収入については計画を下回りました。営業収益は6億62百万円（前年比13.8%増）となり、当期剰余金は2億3百万円（前年比15.0%増）を計上しました。

16. ホクレン商事

店舗事業では、売上が伸長しているデイリー部門の和日記、洋日記、冷凍食品などの売場を拡充し、品揃えを大幅に増やすことによりお客様の生活様式にあった売場を実現するとともに、店舗全体ではお客様がより快適に買い物を楽しめるよう、余裕を持たせた道路幅を確保しました。営業事業では、温対法および改正省エネ法などにより、今後さらに注目される脱炭素化について最新情報を収集し、JAおよびホクレンなどに提供しました。リース事業では、畜産クラスター事業について、新たに酪農規模の大きなJAと契約を締結するなど、取扱高の確保に努めました。売上高は649億81百万円（前年比0.5%減）となり、当期剰余金9億17百万円（前年比12.3%減）を計上しました。

17. 株式会社日本農業新聞

本紙の普及では、年間平均部数が25万6,081部（前年比7.0%減）となりました。広告・事業開発では、15億25百万円（前年比0.9%増）となり、売上高合計は71億57百万円（前年比4.9%増）となりました。費用合計は67億76百万円（前年比1.7%増）となり、当期剰余金は3億78百万円（前年比72.3%増）を計上しました。

18. 株式会社農協観光

観光需要の回復傾向により団体旅行が前年度に引き続き増加し、国内、海外、訪日旅行共に前年度実績を上回りました。取扱高は317億39百万円（前年比5.0%増）、売上総利益50億7百万円（前年比7.4%増）と増加しましたが、要員増により人件費も増加しており、2期続けて黒字化はしていますが、当期剰余金は4億16百万円（前年比24.8%減）となりました。

19. 株式会社JA北海道情報センター

令和6年度は「第5次中期経営計画（令和4年～令和6年）の最終年度にあたり、当社が果たすべき使命・役割となる3つの「基本戦略」を主軸に、本計画の着実な実践と振り返りに努めてまいりました。当期剰余金は68百万円（前年比41.2%減）を計上しました。

20. カルビー株式会社

欧米のインフレ鎮静化や中国の景気低迷にも歯止めがなかったことなどから、後半にかけて徐々に回復がみられ、国内コア事業では、消費者のニーズの変化に合わせたメリハリのある製品展開やファンマーケティングの強化など、収益改善をすすめました。国内事業は、価格・規格改定効果に加え、継続的なマーケティングに取組み、売上高は3225億64百万円（前年比6.4%増）となり、当期剰余金は191億4百万円（前年比19.1%減）を計上しました。

21. 北海道農業信用基金協会

JAをはじめ関係機関と連携し、農業者の経営と生活を守る保証機能の発揮に一丸となり、事業推進に取組んでまいりました。当期剰余金は1億37百万円（前年比65.9%減）を計上しました。年度末基金残高は262億60百万円（前年比548百万円増）、年度末保証残高は4640億73百万円（前年比1.1%増）となりました。

22. 十勝広域森林組合

林業界においては価格高騰により新築着工件数が減少し、需要縮小に伴い受注量が減り、製材価格が伸び悩み原木流通の減少という循環になっています。そして人件費や物流を含む生産コストが上昇しましたが、それらを販売価格に転嫁しきれておらず、昨年同様に厳しい状況が続き、これらの様々な要因が組合運営に大きく影響を受け、事業収益は27億4百万円（前年比1.4%減）、当期剰余金は5百万円（前年比13.8%減）となりました。

GAP (農業生産工程管理)に取り組みましょう！

小麦の収穫が終わり、野菜類も順次収穫が進み、馬鈴しょの収穫作業が始まりました。

農作業の本格化に伴い、農作業事故が増える時期でもあります。

「農作業安全」はGAPに取り組む目的の一つです。日頃の作業内容を点検・確認・改善する事で事故防止に役立てましょう。また、GAPは、自らの経営を見直し、より良い状態とするためのツールとしてご活用いただくものですので、ぜひ皆様に取り組んでいただきたいと思います。

～十勝型GAPへの取り組みにより期待できること～

- より安全性の高い農産物の生産に向けて十勝全体で取り組むことで、品質の向上と、高位平準化をはかることができます。
- 作業機械・施設の清掃や点検整備、農薬を取り扱う際の作業点検を徹底することで、農作業事故や、健康被害を防ぐことができるほか、環境負荷の低減にもつながります。
- 生産資材の適正な在庫管理や、効率的な使用などを通じて、生産コストを見直し、経営の改善に役立てることができます。

～GAPチェックリストの提出～

～各チェックリストの提出時期～

- 1 生産物共通……………営農全般に係わる、全ての作付作物の収穫・出荷終了後
- 2 各作物……………各作物の収穫・出荷終了後
- 3 育苗を伴わない野菜類用……種子をほ場に直播する野菜類（えだまめ、さやいんげんを含む）全ての収穫・出荷終了後
- 4 苗立てを要する野菜類……………苗をほ場に定植する野菜類全ての収穫・出荷終了後
- 5 飼料作物……………牧草、飼料用とうもろこしの収穫・調整終了後
- 6 小麦乾燥施設……………収穫・乾燥終了後

GAPチェックリストは、生産工程毎にチェック項目について、できた、できなかったかを確認するものであり、最終的に出荷作業が終わった時点で、リストが完成することになります。本来の取り組みの意義を鑑み、**チェックリストは収穫・出荷終了後に提出**くださいますようお願いいたします。

「生産物共通」のリストは1年間の営農が終了してから提出してください。また、出荷先に関わらず、作付けした作物全てについて提出をお願いいたします。

飼料作物についても同様に、提出くださいますようお願いいたします。

ストップ! ⚠ 農作業事故

収穫時期は疲れが溜まり、注意力が低下しやすくなります。
一人ひとりが十分注意し安全な農作業につとめましょう!

【9月の作業でこんなケガが報告されています (過去4カ年抜粋)】

馬鈴しょの収穫作業では

- ⚠ ハーベスターのローラーに右手の中指、薬指、小指をはさめて打撲した。
- ⚠ 芋の茎が詰まったためコンベアを止め除去している際、誤って運転者がP T Oのスイッチを入れてしまい右手が巻き込まれ、右手首を骨折した。
- ⚠ トラックの荷台からコンテナを降ろし終えたため、アオリをあげた際に右手中指を挟め開放骨折し、切断となった。
- ⚠ ハーベスターに詰まった茎葉を取り除く際に右腕が巻き込まれ、筋組織が損傷し、入院・手術となった。
- ⚠ ハーベスターから降車する際、地面にある培土に気が付かず踏んでしまい、足を滑らせ左足の甲にヒビが入った。
- ⚠ 機械内の石と泥を除去する際に右手薬指が挟まり、腱の断裂と診断された。

その他の作業では

- ⚠ トラクターに付けていたモアコンにネットがからまったため、カッターで切ろうとした際に誤って左手の人差し指を切った。
- ⚠ タッピングナイフを使用し、大豆畑に倒伏したひまわりを除去中、誤って左手親指に当たり、開放骨折と診断され縫合した。
- ⚠ トラクターの窓を拭き降車しようとした際、トラクターに取り付けていたソイルクランブラに足が引っかかり左肩から地面に転落し、左肩腱板断裂となった。
- ⚠ 小麦の播種作業中、播種機のドリル部分に右腕を巻き込まれ骨折した。

家畜の管理作業では

- ⚠ 牛の積み込み作業中、牛が外に出ようと暴れ、登坂板にいた当該者に向かって突進してきたので避けようとした際、登坂板につまずき転倒し右足くるぶしを骨折した。
- ・ パーラー内で搾乳中、パーラーテーブル台へホースを移動させる時に左手を牛に踏まれ、手を引いた際人差し指の爪が剥がれた。
- ・ 牛追い中、牛が暴れて牛と壁の間に挟まれ、腹腔内出血と診断され入院となった。
- ・ 搾乳のため牛を集めていた際、牛に突き飛ばされ鉄の柱にぶつかり右鎖骨を骨折した。

トラクターや作業機械運転中の周囲確認はしっかりと!!

重大な農作業事故として、トラクターや作業機械の巻き込み事故があります。
日が短くなり薄暗い中での農作業では、より危険が潜んでいます。特にバックの際の後方確認は、お互いに声を掛け合い十分気を付けましょう。

◇ 労災に関するお問い合わせ先 ◇

営農部営農情報課 TEL 62-2313

農作業事故を防ごう！

農繁期は農作業事故が発生しやすい時期です。

「予定していた作業を今日中に終わらせよう」という焦りが事故を招いてしまうことがあります。「早く作業を終わらせる方法」ではなく「安全に作業をおこなう方法」を選びましょう！

今すぐ
取り組もう！

事故防止対策



【ステッカーの活用】

5月の全戸発送にて、上記の農作業安全ステッカーを配布しました。

トラクタ内などに貼付けし、ご活用ください！

【作業者と声を掛け合う】

機上作業など、作業者同士の姿が確認しづらい作業では、密に声を掛け合ひましょう！”クラクションを1回鳴らしたら停止（発進）”など合図を決めると、声が届きづらい場合に有効です。



【共同作業者と危険箇所を共有】

作業を始める前に

- 作業手順
- 機械の死角や進行方向には近づかない
- 機械稼働時に、機体へ乗り降りをしてしない
- 作業の速さではなく“安全”が第一なこと

を家族やパート従業員さんを含めた、作業者全員で共有しましょう！

【エンジンの停止を徹底】

機械の点検整備時は必ずエンジンを停止しましょう！機械への巻き込まれ事故が毎年多発しています。

写真提供：農研機構

購買課の土・日・祝日営業案内

秋まき小麦は種の繁忙期を迎えるにあたり、以下の日程で**肥料のみ休日営業（午前）**いたします。

休日営業日につきましては、著しい悪天候が予想される場合は休業させていただく場合がございますのでご了承ください。なお、休業の場合は、事前にFAX・JAコネクトにてご案内いたします。

また、10月1日（水）は棚卸監査のため午前休業となりますが、午後は営業（13：00～17：00）いたしますので、併せてご案内いたします（コスモスベリーズ含む）。

休日営業日：9月20日（土）・21日（日）・23日（祝）

営業時間：8：40～12：00

9・10月購買事業カレンダー

日	曜日	行	事
9月8日	月		
9月9日	火		
9月10日	水		
9月11日	木		
9月12日	金		
9月13日	土	休日	
9月14日	日	休日	
9月15日	月	休日	
9月16日	火		
9月17日	水		
9月18日	木		
9月19日	金		
9月20日	土	休日営業（8：40～12：00）	肥料のみ
9月21日	日	休日営業（8：40～12：00）	肥料のみ
9月22日	月		
9月23日	火	休日営業（8：40～12：00）	肥料のみ
9月24日	水		

日	曜日	行	事
9月25日	木		
9月26日	金		
9月27日	土	休日	
9月28日	日	休日	
9月29日	月		
9月30日	火	休業（棚卸）	
10月1日	水	棚卸監査（午前休業） 13：00～17：00営業	
10月2日	木		
10月3日	金		
10月4日	土	休日	
10月5日	日	休日	
10月6日	月		
10月7日	火		
10月8日	水		
10月9日	木		
10月10日	金		
10月11日	土	休日	

JAめむろ資材センター 作業衣展示販売会を開催しました

7月11日、JAめむろ資材センター前にて作業衣展示販売会を開催いたしました。

当日は、定番のツナギやヤッケ類、手袋や長靴を中心に幅広い商品を通常よりも安価で販売いたしました。

また、今回の展示会に合わせ、暑熱対策商品（冷感Tシャツ・接触冷感コンプレッション）を中心に新商品も販売し、予想を上回る多くのお客様にお買い求めいただき、販売ブース内は終始賑わいました。

今後も様々な新商品をご提案できるようつとめてまいりますので、引き続きよろしくお願いいたします。



初級職員 組合員宅研修報告

先月号に引き続き、初級職員の組合員宅研修の様子を掲載いたします。

①研修先 ②主な研修内容 ③研修を終了して今後の抱負 ④お世話になった研修先に一言



所属部署：管理部 管理経理課 氏名：村本 玲

- ① 上北伏古 岩間 崇浩 様 宅
- ② ゆりね・サツマイモの植え付け、トマトの紐張り
- ③ 力作業はほとんどなかったのですが、帰宅したら疲れですぐ寝てしまう毎日でした。自分が出勤する前から仕事は始まっており、曜日関係なく働いていることを考えると、その苦労はとてつもないと感じました。JA職員として、組合員さんのためにできることは何かを常に考えて日々の業務をおこなわなければと強く感じました。
- ④ 5日間大変お世話になりました。ご家族の皆さまが温かく受け入れていただき、何を聞いても優しく教えてくれたことがとても嬉しく、研修を終えた日は寂しい気持ちになっていました。ゆりねの生育の過程や、トマトの栽培方法のこだわりなど、興味深い話が聞けて大変勉強になりました。また秋頃に、日焼けが治り真っ白な状態で伺いますので、よろしくお願いします。

所属部署：農産部 青果課 氏名：北 昭平

- ① 東美生 早苗 佑貴 様 宅
- ② にんにくのとう摘み
- ③ 今回参加させていただいた研修を通じて、地元の芽室町農業をより身近に感じることができました。広大な大地に広がる青々としたにんにくや、早朝から黙々と作業を進めていく皆さまの姿、そして何よりも体に染み渡るようなエネルギーにんにくの香りはどれも刺激的な思い出となりました。これからもJA職員として組合員さんの生活をより充実したものにするために今回感じた「現場」を強く胸に刻み今後の職務に尽力いたします。
- ④ このたびは、お忙しいなか研修を受け入れていただきありがとうございました。初めての作業でしたが、農作物のこまめな手入れの大切さや現場のチームワークなど事務仕事ではなかなか感じられない「現場」を垣間見ることができました。生産者様の一年には、関係する皆さまの努力が集結していることを実感するとともに、それに対する責任の大きさを痛感いたしました。皆さまの汗と笑顔を胸に刻みJA職員として歩んでいこうと思います。



所属部署：営農部 農業振興課 氏名：久保 伸也

- ① 渋山南 福田 剛 様 宅
- ② 未萌芽種芋・病害株の抜き取り作業
- ③ 前職でたくさん農業に携わってきたつもりでしたが、まだまだ私の知らない生産者の苦労や努力がたくさんあることを実感できました。今後は、農業のことや組合員の皆様のことをもっと知り、たくさん貢献できるよう精進してまいります。
- ④ このたびはお忙しいなか、研修を受け入れていただき、ありがとうございました。種いもに関する作業は初めてでわからないことばかりでしたが、丁寧にご指導いただき、種いも生産に関する理解が深まりました。特に種いも栽培の大変さと生産者の多大な努力を間近で感じることができ、大変勉強になりました。秋の研修もよろしくお願いいたします。



芽室町新農業経営者育成システム 第30期研修生の応募は9月30日まで

令和8年4月に採用する育成システム第30期研修生を募集しています。

応募締め切りは9月30日（火）まで、応募資格や採用日程などの詳細は、夢あぐり7月号に掲載しております。応募を希望される方、研修内容等を詳しく知りたい方は、営農部 営農情報課へお問い合わせください。

営農情報課 TEL 62-2313

理 事 会 だ よ り

第5回（7月18日開催）

- ・議案第1号 2025年ディスクロージャー誌について
- ・議案第2号 出資金の譲渡承認について
- ・議案第3号 理事会の傍聴について
- ・議案第4号 令和7年産食用馬鈴しょ取扱要領について

報告事項

- 1 主要なる内部および外部会議の概要について
- 2 令和7年度第1四半期内部監査結果報告について
- 3 組合員の加入・脱退状況について
- 4 第1四半期コンプライアンスに係る対応状況について

- 5 令和7年度J A共済コンプライアンス点検結果について
- 6 令和6年度経営分析結果について
- 7 余裕金の運用状況（令和7年度第1四半期末）について
- 8 令和7年度作付実態面積について
- 9 令和7年産ジェイエイめむろフーズ（株）向け冷凍加工用さやいんげん・えだまめ取扱要領について
- 10 令和6年産食用馬鈴しょ本精算について
- 11 食品加工事業の販売・製造およびジェイエイめむろフーズ（株）6月末財務実績について
- 12 めむろファーマーズマーケット「愛菜屋」第1四半期販売状況について
- 13 令和7年度堆肥センター6月末稼働実績について

連載 J A の基礎【報徳編】

第34回 協同組合と報徳ⅩⅧ

◆女性活躍の条件とは◆

今回は、女性の活躍が経営の質を高めることについてお話ししました。それでは農漁村において女性が活躍するためにはどのような条件が必要なのでしょう。ここに紹介するのは北海道大学農学院高橋祥世氏が道内K農協を分析したものです。

- 女性農業者は世代により大きな変化が起きていた。後継者妻世代は非農家出身者が圧倒的多数であるうえに、子育てに専念する期間を設けることなどにより農業へ関わる年齢が高くなる傾向にあった。
- その一方で経営参画に意欲をもつ女性が増えてきており、後継者妻たちは営農に関する課題（農業に意欲的だが経験や知識が不足している）を抱えていた。
- また、家事・育児・介護は依然として女性たちがおもに担っており、農村の高齢化に伴う農家の介護問題が経営に関わる問題として現れ始めている。

この後継者やその妻の世代は、小学校の時代から男女同権の教育を受けてきた世代であり、男女共同参画社会をめざす時代の流れで結婚し、農業経営に参加しています。また、男性も家事や育児に協力的であることも報告されています。

農業で女性が活躍するための条件整備は緒についたばかりです。世代が若くなるにしたがって農業の経験のない女性が増え、また、農業へ関わる年齢も高くなっています。今後は早い段階から農業に係る研修を開始し、経営者として能力を発揮できるよう農協・漁協や女性部などが組織的な関与を進めることが必要となっています。

なお、現在女性部を牽引している世代と若い世代の世代ギャップはあります。しかし、時代を遡ってみても、常に世代間のギャップはありました。新しい時代に向けた女性部の挑戦として、女性経営者の育成につとめてみてはいかがでしょうか。それが農業漁業経営の質的発展の基盤を強化するものになると思います。

（H30.10.15発行 北海道報徳情報別冊39号より一部抜粋）

八千九百万円の借入をし、その他定期預金、在庫品担保などにて借入をし、金融の円滑化に努力している。

生産販売は、米麦の外、統制解除のため、集荷の万全を期して、資金獲得に邁進、そのため組合員一致団結して生産物は協組に出荷、価格維持のため無条件で北販連に委託し「共計」による平均販売の大方針を樹て、これにより北信連、中金の資金導入を図る外なしとの方針でやつた。

しかし、業者に庭売するもの続出、業者の進出すごく、組合の集荷皆無かと心配、やむを得ず無条件委託共計販売のほか指値委託、成行委託、買取の取扱をやつて業者をやや押えた。

組合の集荷は雑こく十一万九千俵、デンプン三万一千袋その計五億二千万円の巨額に達し出回り予想の七割の集荷実績をあげた。一つには名古屋支所の活動もあつて、大阪、京都、岐阜、横浜、東京、東北、北九州市場へ進出した。

しかし、価格は刻々と変動、時には倍額になったり、数百円の下落をみたり、寸刻の油断もゆるさず、販売担当者の苦心は大変なものだった。こんごも皆様の御理解と御支援と利用をおねがいしたい。

購買は生産資材に重点を置き、過石肥料（十貫入り）十萬俵、硫酸二萬俵、加里（一〇〇K入り）五千俵など一億四千四百萬円を扱い、また藁工品、農具、農薬など三千五百萬円を扱い、いずれも農手利用で売却、家庭用品も六千百万円の利用をみた。これなど名古屋支所を通じて産地直輸入の利便があつて安価であつた。

結局購買事業は当初予定計画を一〇〇%上回る売上げとなり、二億七千五百九十萬円に上つた。

しかしながら工場部は、ミソ、醤油の委託加工の評判はいいが、搾油は統制撤廃後需要激減、また蹄鉄工場の利用度も下り、年間八十萬円の欠損をきたし、デンプン工場も価格が一袋につき一千円の下落で、各工場大打撃をこうむつた（以下略）

註 蹄鉄工場は二十七年閉鎖、独立経営者に経営を委譲

（十月号へつづく）

JA 北海道中央会からお知らせ

JA 333 GROUP HOKKAIDO

営農農政 NEWS WEBSITE

JAグループ北海道の農政活動や
営農・農政関連情報を配信中！



「公式LINE」
友だち登録は
こちらから！



【お問い合わせ先】JA 北海道中央会アグリアクション推進部
E-mail:kouhou@chuo.ja-hokkaido.gr.jp

JAグループ北海道 農政NEWS 웹사이트を活用しよう！

JA グループ北海道では、「営農・農政 NEWS ウェブサイト」において、JA 役職員・組合員の皆様のために、日々営農・農政情報を配信しております。

今後も、JA グループ北海道の農政運動に関する取り組みや農業情勢等の情報を掲載してまいりますので、更新通知の届く公式LINE に登録いただき、ウェブサイトの情報をご確認願います。

【営農・農政 NEWS ウェブサイト掲載イメージ】



【掲載内容】

- ①各対策本部委員会 基本農政・米・畑青・酪畜の対策委員会概要
- ②中央要請 JAグループ北海道で実施した要請運動の概要、要請書など
- ③情勢資料 対策本部委員会で配布された資料など
- ④政策提案・めざす姿 対策本部委員会で決定された政策提案等の資料
- ⑤営農・農政情報 JAグループ北海道、農水省、北海道に関するニュース
- ⑥各種政策・⑦参考資料 農水省の政策や補助事業、制度等に関するデータ

【接続方法】

右のQRコードから公式LINEを友だち登録いただき、ご挨拶のメッセージ内のリンクからアクセス願います。

本件に関するお問い合わせは、
JA 北海道中央会 アグリアクション推進部まで
メールアドレス：kouhou@chuo.ja-hokkaido.gr.jp



公式LINEで
更新情報を
配信中

友だち追加

茅室町農協史

【本篇…茅室町農協の十年】

連載 No. 58

数字が語る輝かしい実績

さて以下組合の実績を示す数字をならべてみよう。まず農協創立から四力年分について――。

昭和23―26年度末比較貸借対照表

資産の部

単位 円

科目	23年度	24年度	25年度	26年度
現金	六九一、八七一	六五〇、五九七	二、七八九七〇五	二、二五七、七五四
預金	三七、三三〇、二〇三	三八、一四六、八九七	二六、一五〇、五一	二九、六五四、二二三
有価証券	一五二、一九四	二七二、〇三五	一六、三三二	一五、三七〇
貸出金	四三、三三七、四〇一	三五、一七〇、一一六	八四、三九八、六〇八	一四〇、八六三、三六二
信用事業資産計	八、一四一、〇七六	七四、三三九、六三五	一一三、三五〇、五六	一七二、七九〇、七〇九
購買勘定	九〇七、〇八〇	一一、八八八、九三五	二九、八〇一、〇六四	三三、二五八、五八四
販売勘定	三、三二九、四〇六	二、九八〇、三五四	三八、九六八、二〇九	九九、〇五七、六五五
倉庫原材料				七七五、六〇〇
利用勘定	一四〇、五二九			
農村工業勘定	一、四三九、四五九	二、二四一、八九九	二二、二六九、二三七	二四、七二八、三四四
受取手形				二四、八〇二、三二六
未収金勘定	二、九七九、六三二	三、三三三、六二二	一、七〇五、五四四	一、九三〇、七七七
その他雑勘定	六六九、〇一四	一一、八四八、二〇一	九、七三九、二八〇	一八、七七六、〇八七
経済事業資産計	三三、六四九、九七四	三四、一七四、〇〇一	一〇、一四八、三三三	二〇、二二九、三六三

負債および資本の部

有形固定資産	六八九〇、一五六	一三、〇四七、一三七	二二、四九七、五七七	三三、〇〇一、六二一
系統機関出資金	九二、〇〇〇	三、九三五、〇〇〇	四〇、四三三、六〇〇	六、七〇七、六〇〇
関係団体出資金	一三五、五〇〇	一三五、五〇〇	二、一三五、五〇〇	四、三四九、五五〇
固定資産計	八〇一七、六五六	一七、一七六、三七七	二九、七七六、六七七	四三、〇五八、七七一
資産総計	一一、三〇七、八九九	二五、六三一、二七三	二四、五六一、〇六七	四一、八、一七八、八四三

科目	23年度	24年度	25年度	26年度
貯金	四九一、四四四、五六六	七八、四七六、〇一七	一三六、八六四、〇九八	一三四、四四七、八一六
借入金	三三、八六九、九一一	一一、九六〇、〇〇〇	四六、一九七、七七九	二〇五、一三八、五五三
信用事業負債計	八三、〇一四、四七七	九一、四三六、〇一七	一八三、〇六一、八七七	三三九、五八六、三六九
購買勘定	九八四、〇一八	四、八三三、七六九	二五、一三七、四八六	二四、二四二、九四七
販売勘定	五六三六、三三五	六、五一五、七七五	四八六九、五九四	四、三五六、〇四一
引当金勘定	一、一八〇、一三八	一、五九七、二三九	二、一二二、七〇三	二、九三一、五三二
未払金勘定	二九五、九一三	一、三三二、七一八	一、四八六、六二六	五、七二二、八〇八
その他雑勘定	五〇〇、五二一	六、一八〇、〇六六	五、七六一、〇三五	一一、一七二、九四九
経済事業負債計	二、一九五、五三二	二〇、四四九、五六七	三九、三七七、四四四	四九、四一六、二七六
出資金	六九、二四、五〇〇	一三、一三九、五〇〇	一八、五三三、四〇〇	二五、一〇九、五〇〇
法定準備金	三〇、八〇〇	二二、一八七	二七、二五二	一、〇八二、二五一
任意積立金	二二、一六三	三三、七八二	三三、七、八二一	三三、七、八二一
本年度利益金	九三二、九三七	六、一一八	四〇、四一、六七四	二、六五六、六二六
自己資本計	八、一〇五、四〇〇	一三、七四五、六八九	二二、一七五、七四六	二九、一七六、一九八
総計	一一、三〇七、八九九	二五、六三一、二七三	二四、五六一、〇六七	四一、八、一七八、八四三

このあと、すなわち二十七年度は雑こくの統制撤廃のあとをうけて、組合あげて自由販売体制に突入したわけだが、二十七年四月二十九日の第三回通常総代会における高橋組合長の報告はつぎの通りで、当時の状態を知るために、記録すべきものと思われる。

農産物の統制解除は、いままでのように入庫と同時に政府買上げとなり現金化しないことになり、金融面も資金統制のワクがあつて資金ぐりは非常に窮屈である。借入金も本年度農手借入八千万円は期限前に全額償還、さらに二十七年度農手

J Aめむろ農畜産物加工調理体験施設

「緑のめぐみ館」からお知らせ

2025年
10月
開催

!! 参加者募集 !!

収穫の秋・

食欲の秋を楽しみましょう



料理講習会

時間 9:00～13:00

- ①10月9日(木) スイートポテト
- ②10月16日(木) 手打ちそば
- ③10月23日(木) 手作り味噌
- ④10月30日(木) ハロウィンケーキ

定員：各回10名

参加料：・スイートポテト 2,500円 ・手打ちそば 2,500円
・手作り味噌 3,500円 ・ハロウィンケーキ 2,000円

持ち物：バンダナ・エプロン・タオル・マスク・お持ち帰り用の容器
味噌は5kg位入る樽・袋2枚

芽室町外の方も
大歓迎です!!
v(≧▽≦)/



一緒に学ぼう!

作って楽しい! おいしい!!

親子お菓子教室

日時：10月4日(土) 9:00～12:00

メニュー：シフォンケーキ

人数：親子10組(小学生以上)

参加料：無料

持ち物：バンダナ・エプロン・タオル・マスク・お持ち帰り用の容器
お子さんはきれいな長靴をご用意ください。



今が『今年最後』の親子教室です!
楽しみましょう♪

J Aめむろ
Instagram



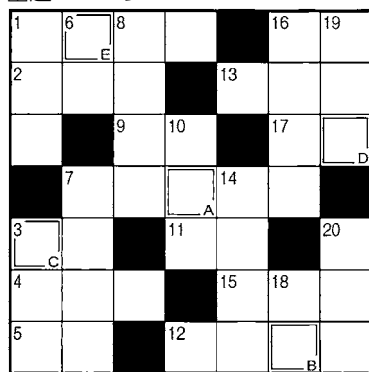
「緑のめぐみ館」は、個人・団体・グループで気軽にご利用できる加工調理体験施設です。

◆お申し込み・お問い合わせ：「緑のめぐみ館」TEL/FAX 62-5379
芽室町東めむろ3条南1丁目「愛菜屋」東隣

パズル? 頭の体操

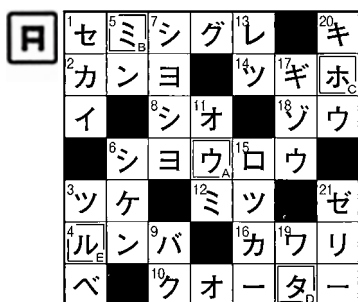
Q 二重マスの文字をA～Eの順に並べて
できる言葉は何でしょうか?

出題：ニコリ



※解答は10月号に掲載いたします。

8月号の
解 答 ABCDE
ウミホタル



→ 3つのカギ

- 1 9月の第3月曜日は——の日。国民の祝日です
- 2 敷布団にかけます
- 3 ツナやビールを詰めます
- 4 仕入価格のこと
- 5 空振りしたらバットが切るもの
- 7 高知県の景勝地。坂本龍馬像があります
- 9 重い——を上げて出かけた
- 11 ダリアやコスモスはこの植物の仲間
- 12 文は主語、——、目的語などからできています
- 13 鶏卵の重量の60%を占めます
- 15 兄が一人いる男性
- 16 しめ縄から下げる白い紙。「垂」「四手」と書きます
- 17 なくて七——

↓ タテのカギ

- 1 車窓を流れていきます
- 3 おしゃべりではありません
- 6 アルファベットの5番目
- 7 9月1日は——大震災の起きた日。現在は防災の日になっています
- 8 あばら骨ともいいます
- 10 塗装していない、——のカウンター
- 14 数え年99歳のお祝いです
- 16 ホッキョクグマの別名
- 18 終わったら秋になります
- 19 祭りの——で焼きそばを買った
- 20 十五夜に供える月見——

解 答 欄				
A	B	C	D	E